

PCSA アクションレポート（不正対策研究部会）

平成 29 年 11 月版

第 137 回不正対策研究部会

- 開催日時 平成 29 年 11 月 17 日（金） 午後 1 時～午後 3 時
開催場所 PCSA 会議室
出席人数 部員 7 名、正会員オブザーバー 2 名、日遊協参加者 1 名、メーカー参加者 1 名、合計 11 名
出席者 <リーダー>
松本 浩 株式会社ヒカリシステム 設備マネジメントグループ メンテナンスチーム アシスタントマネジャー
<サブリーダー>
倉沢 隆志 株式会社ニラク 法務部 コンプライアンス担当
<部員>
金子 敦 株式会社ダイナム 法務・リスク管理部 リスク管理担当
松尾 武 運営推進部 遊技機流通支援・不正対策グループ マネジャー
梅野 唯行 株式会社合田観光商事 セキュリティ課 課長
上野 誠 株式会社ヒカリシステム 設備マネジメントグループ メンテナンスチーム
春原 正愛 アメニティーズグループ（株式会社アメニティーズ） 監査室 係長
<正会員オブザーバー>
寺島 宗幸 株式会社ニラク 法務部 コンプライアンス担当
磯本 一 株式会社キョウサン 課長
<日遊協参加者> 1 名
<メーカー参加者>
大庭 義樹 様 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 開発本部 セキュリティ対策室 室長

1) 最新のゴト情報

遊技台 A の右打ちで潜伏狙いの案件が上がったが、不正ではなく、打ち方のマナー、もしくはハウスルールや他のお客への迷惑などに関する事例だった。

2) ゴト被害アンケート 10 月について

アンケート回答 7 社。磁石、電波、他店持ち込み、レート変更、くぎ曲げなどで、被害件数 25 件、被害額 ¥574,860-、警察への通報回数が 2 件、被害届申請が 2 件、被害届受理が 0 件となっている。遊技台 C の電波ゴト被害額が大きかった。また、くぎ曲げか散見されたが、各社その後の対応について注意が喚起された。

3) 内部不正対策

今回は「修得したワンデーカード、会員カードの内部不正を防ぐために」がテーマ。具体的な下記事例への予防、対策等が話し合われた。また、次回の部会では、「拾得したワンデーカード、会員カードに関する内部不正」の具体的な事例を数例挙げて、それぞれどう対策したのか、又考えられる防止策をアンケートする。

Q 修得したワンデーカード、会員カードの内部不正を防ぐために何が出来るか。

1. 残金の処理方法に対して
2. スタッフが架空カードを作成する事に対して
3. スタッフが会員カードへ落ち玉、落ちメダルを貯玉する行為に対して
4. 不正とは違うがロッカーに該当のカードを大量に貯めていることに対して

4) 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 報告事項

遊技機 G の新たな不正サブ基板の情報を共有した。既に全日遊連宛に注意喚起を依頼している。また、遊技機 D のクレマン対策部品交換の実施についてスケジュールや開始される地域などについて情報を共有した。

5) 次回開催

平成 29 年 12 月 15 日（金）

午後 3 時～5 時

PCSA 会議室

以上